



学校だより

調布市立調和小学校
令和8年5月29日(金)
校長 安藤 力也

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

発見! きらりと光る 子どもたち

校長 安藤 力也

新年度が始まってから、早いもので2か月が経ちました。この間、1年生から4年生までとは校外学習に、6年生とは2泊3日で日光移動教室と一緒に掛ける機会がありました。よく、「校長先生、引率ばかりで大変ですね。」と声を掛けられることがあるのですが、私にとっては、より多くの子どもたちと関わり合えるチャンスであり、子どもたちのよさやその子ならではのきらりと光る姿に出会える貴重な機会、だからむしろ楽しみなのです。体力は歳とともに低下しているため、身体的疲労回復には苦勞しますが、それを上回る発見・喜びがいつもあります。今回もたくさんのお会いや発見がありました。

○一緒に歩きながら、たくさん生き物についてとても詳しく話してくれる子がいました。「よく知っているね。」と声をかけると「僕は将来、生物学者になりたい。でも、その前に世界中を冒険してたくさんを経験したい。その後で生物学者になる。」と瞳を輝かせながら話しました。自分が大好きなことから将来の夢を、こんなにも具体的に思い描き、語るなんてすてきなことだなと思いました。

○目的地まで遠い道のりを一生懸命に歩く子どもたち。でもやっぱり疲れて足取りが少しずつ重たくなってきました。大丈夫かなと心配しながら見守っていると、そばにいた友達が「〇〇ちゃん、がんばろう!」と声を掛け、時には手を取りながら励ます姿が…。するとそれまで疲れた表情を見せていた子が元気を取り戻し、見事に歩き切りました。友達パワーってすごい。一人ではできないことができるってこういうことなんだなと胸が熱くなりました。

○電車での帰り道、一時は混んでいた車内から多くの方が下車すると、空席が多くあることを確認しながらその子はそっと椅子に座りました。たくさん歩いて疲れている様子です。いくつかの駅を過ぎると再び大勢の方が乗ってきました。高齢の方もいました。すると、すかさず席から立ち上がり譲る姿がありました。疲れている中でも周囲の状況に合わせて自分がどうすべきか考え、行動に移すことができることに感心するばかりでした。

○バスでの移動中、目的地に着き下車しようとした子が自席に忘れ物をしていることに気がきました。後方からそれを届けてくれた友達から忘れていた帽子を受け取ると「ありがとう!」とお礼の気持ちを素直に伝える姿がありました。当たり前のことを当たり前でできる子どもの姿に心がぽかぽかと温かくなりました。

1学期の校外学習を締めくくるのは、7月1日から出かける5年生とのハヶ岳移動教室です。きらりと光る、どんなすてきな子どもたちの姿と出会うことができるか、今から楽しみです。

◆6月は「ふれあい月間」です。

東京都教育委員会では、6月・11月・2月を「ふれあい月間」として、いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子どもたちの健全育成を目指した取組を行っています。もちろん、この期間だけではなく、日常的に子どもの変化に気が付くことができるよう、全校体制で連携し、子どもたちを見守っていますが、お子様のことで、御心配なことがありましたら、いつでも御相談ください。